

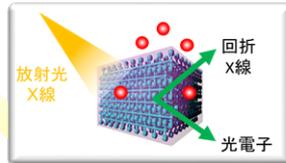
# 次世代放射光による先端計測ソリューション

## コンセプト

複数の放射光施設をまたいでデータ収集するようなことが、PhoSICビームラインの横断的利用によって可能となる。最小限の時間で必要なデータが揃う。

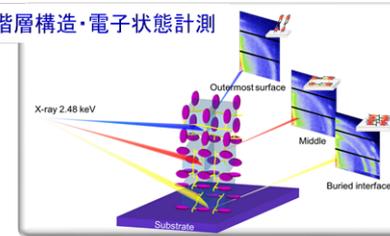
### BL-I 材料内部の構造と電子状態

テンダーX線～硬X線  
オペランド光電子分光・回折計測

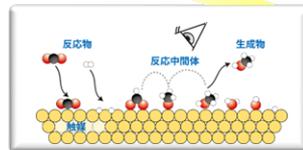


### BL-II 階層構造と電子状態・化学状態

テンダーX線～硬X線 階層構造・電子状態計測



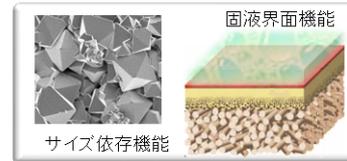
### BL-VII 材料表面の電子状態・化学状態



軟X線 雰囲気オペランド分光計測

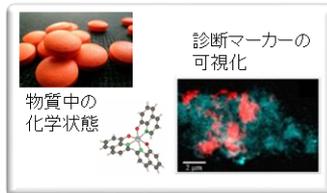
### BL-VI

ナノ空間の機能電子状態可視化



軟X線 高分解能電子状態計測

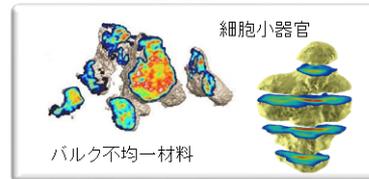
### BL-III 物質と機能の階層構造



硬X線イメージング、  
トモグラフィ計測

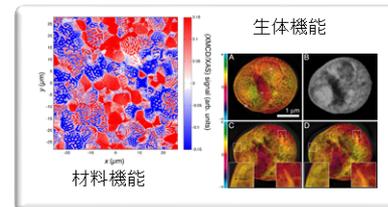
### BL-IV

3次元ナノ構造-機能相関



テンダーX線～硬X線  
コヒーレントイメージング計測

### BL-V 機能分布・発現機構



軟X線～テンダーX線  
先端機能磁気イメージング計測

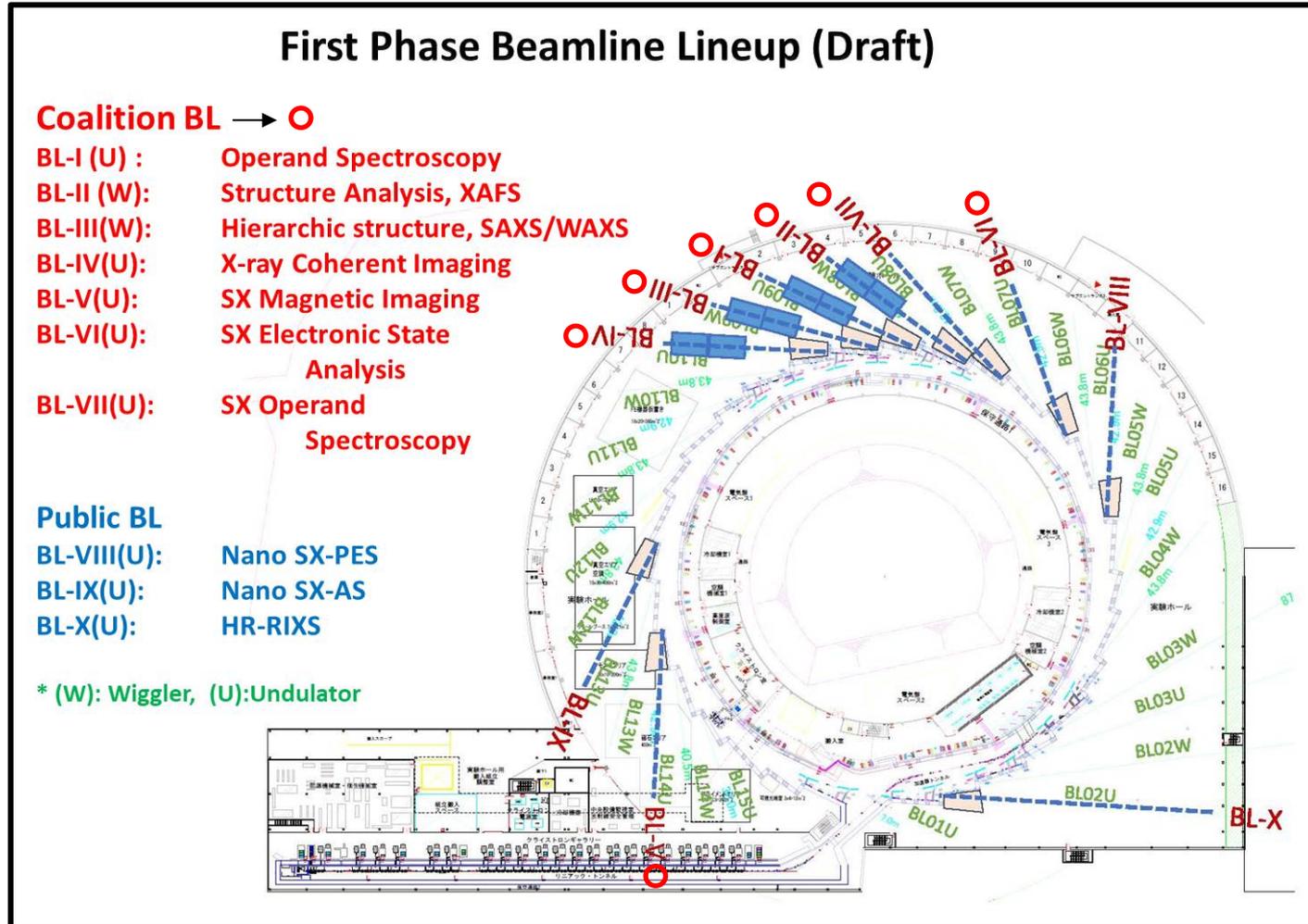


## 方針

PhoSICビームラインの横断利用を最適化し総合的なデータ収集をユーザーに提供する。

# ビームライン配置案

- 「横断的利用」「実験内容の秘匿性の担保と安全性の確保の両立」を踏まえ、配置を検討



- ESハッチのデザイン(必要なワークスペースや秘匿性、安全性の両立から大きさや形と配置を決める)
- インターロックシステム